



ステラ☆ミラ

もしもの時は

ペットが亡くなったら葬儀・火葬までの安置方法

家族同様に生活してきたペット達との別れは非常に辛いものです。

飼い主の方にはセレモニーの前に大事なペット達がやすらかに眠れるよう大切にご安置してください。

(ここではワンちゃんの例をご紹介します)

1. 準備するもの

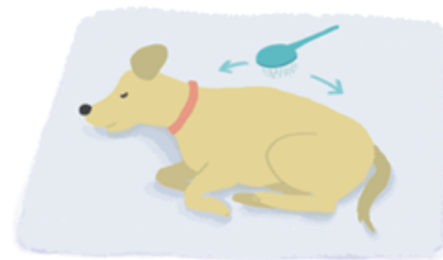


丈夫な箱、新聞、バスタオル・シーツ、保冷剤をご用意してください。

(※保冷剤があるとペット達のお身体の傷みがやわらぎます)。

2. ご遺体のお清め

最後の別れの前に、毛並みを揃え、まぶたや口を閉じ尻尾を整えておきましょう。お湯で湿らせた布などで、頭部、顔、全身をやさしく拭き取ります。ご遺体から体液がしみだす場合がありますので、あらかじめシートを敷いて、口や肛門周辺をガーゼ等で拭き取ってください。

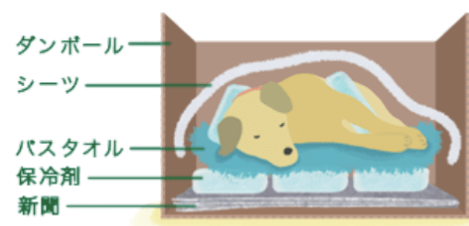


亡くなった後、死後硬直が手足から腹部、頭部の順番で広がっていきます。ご遺体をそのままにしておくと手足がつっぱったまま硬直してしまい、納棺できなくなる場合がございます。

亡くなられたら前・後肢を胸の方へやさしく曲げてあげてください。

イラストのように納棺してください。特に暑い季節はご遺体の傷みが早いので、保冷剤をタオルにくるんでお腹あたりに当ててください。氷をビニール袋に入れておくのもいいですが、すぐに溶けてしまいますので取り替えが必要になります。

納棺イメージ

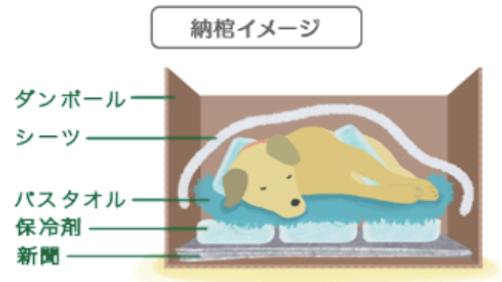


3. ドライアイスの使用方法

夏場や暑い時期はペットのご遺体の傷みが早く進行いたします。ペット火葬・葬儀までのご遺体の冷却にはドライアイスが効果的です。

亡くなられたペットの体重、ペット安置場所、ペット霊安場所や気温などにより変動いたしますが、夏期でも 20 時間～ 30 時間ほど使用できます。

ご遺体の腹部を中心にしながらペットのお身体全体が冷えるように配置します。ドライアイスは直接手に触れると危険です。



ペットのご遺体にも直接触れないようにタオルなどで包んでから配置してください。

バスタオルなどでご遺体全体を包み込むようにすれば、冷気が逃げにくく保冷効果が高まります。

なお、二酸化炭素ガスの充満を避けるために、安置するお部屋は必ず定期的に換気を心がけてください。

4. 届け出・手続きなど

犬が死亡した場合、保健所に鑑札及び狂犬病注射票を添え飼い犬登録の抹消手続きをする必要があります。狂犬病にかかった犬、あるいはかかった疑いのある犬またはこれらの犬にかまれた犬については保健所に引き渡さなければなりません。血統書のある犬の場合は、登録団体にも連絡し所定の手続きを取ります。

ペット葬祭コミュニティ

ステラ☆ミラへのお問い合わせはこちら



お問い合わせ時間 9:00～18:00

0120-62-0800